

中小企業の経営の改善及び地域活性化のための取組み

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

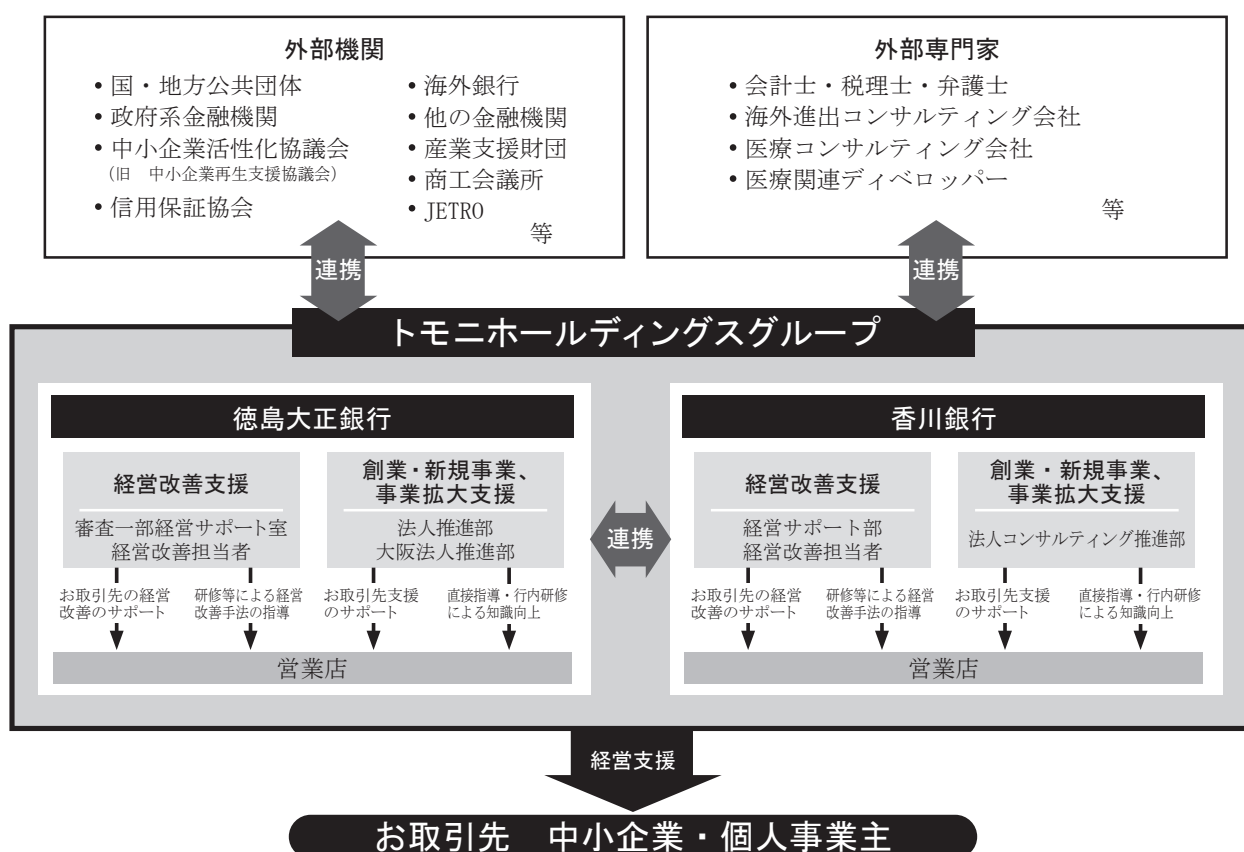
当社グループは、グループ経営理念の一つに「お客さまとともに成長（地域において持続的安定的な金融仲介機能を発揮し、地域のお客さまとともに成長し続けます。）」を掲げており、地域のお客さまへの円滑な金融仲介機能の発揮に取り組んでいます。

銀行子会社である徳島大正銀行及び香川銀行においては、「金融円滑化・地域密着型金融への取組み」を主要施策の一つと位置づけ、お客さまへの資金供給、債務の弁済に係る負担の軽減及び経営に関する支援等について、全行を挙げて積極的に取り組み、地域経済の健全な発展に貢献していきます。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

中小企業・個人事業主のお取引先に対して、徳島大正銀行及び香川銀行の本部専門部署と営業店が一体となって、新規開業、事業拡大等ご融資に関する相談、経営改善計画書策定支援等の経営相談に積極的に取り組んでいます。

また、外部機関や外部専門家等とも連携を図り、お客さまの経営全般の課題解決に向けたコンサルティング機能の発揮に向け、積極的に取り組んでいます。



【中小企業経営力強化支援法に基づく認定の取得】

徳島大正銀行及び香川銀行では、コンサルティング機能の発揮に向け、平成24年11月に「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業経営力強化支援法）」第17条第1項の規定に基づく「経営革新等支援機関」（認定支援機関）としての認定を受けています。

【「地域とトモニ1号投資事業有限責任組合」の設立】

「地域とトモニ1号投資事業有限責任組合（略称：地域とトモニファンド）」をフューチャーベンチャーキャピタル㈱と共同で設立しています。「地域とトモニファンド」は、徳島大正銀行及び香川銀行の営業エリアに本社又は拠点を持つ、『創業期の企業・第二創業に取り組む企業』『事業承継を必要とする企業』『その他地域経済の活性化に資する企業』を投資対象としており、本ファンドの活用により、地域金融グループとして地域経済の活性化に貢献しています。

【人材紹介業務への参入】

少子高齢化の進展に加え、地方においては大都市圏への人口流出や事業承継問題の影響等により、人材の確保（特に、経営幹部人材、管理職人材、後継者等）を経営上の優先課題と位置づけている企業が増えています。こうした経営課題解決のサポートを行うため、当社グループは人材紹介業務に参入し、お取引先の持続的な成長を支援することで地域経済の活性化に貢献しています。

■中小企業の経営支援に関する取組状況

地元である徳島県及び香川県を中心とした中四国地区をはじめ大阪地区及び東京地区において、広域金融グループとしてお取引先数を着実に増加させ、金融仲介機能の発揮、地域経済の活性化に取り組んでいます。また、本業支援に関連する研修の実施、資格の取得等、人材育成にも積極的に取り組んでいます。

【地域別の取引先数の状況】

（令和6年3月末）

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	岡山県	広島県	大阪府	兵庫県	京都府	東京都	合計
徳島大正銀行	5,587先	301先	537先	545先	—	—	3,797先	1,199先	168先	1,089先	13,223先
香川銀行	325先	7,675先	2,697先	360先	2,321先	225先	2,177先	—	—	499先	16,279先

【メイン取引先数の状況】

（令和6年3月末）

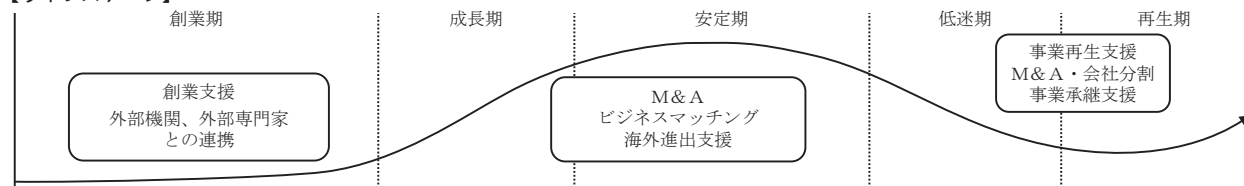
	徳島大正銀行	香川銀行
メイン取引先数（※）（A）	4,025先	6,012先
（全取引先に占める割合）	（30.4%）	（36.9%）
メイン取引先の融資残高	5,983億円	5,445億円
（A）のうち経営指標が改善した先（B）	2,883先	4,206先
改善先の割合（B/A）	71.6%	69.9%
（B）の融資残高	4,679億円	4,033億円

※取引先の借入残高に占める当社グループ行の割合が1位の先

【ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮】

当社グループは、お取引先の各ステージ（創業期、成長期、安定期、低迷期、再生期）におけるニーズや経営課題を解決し、中長期的な成長を支援するコンサルティング機能の発揮を積極的に行っています。

【ライフステージ】



■ライフステージにおける取引先の状況

（令和6年3月末）

	ライフステージ	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
徳島大正銀行	融資先数	926先	1,797先	8,247先	841先	1,110先
	融資残高	856億円	3,250億円	9,429億円	797億円	1,037億円
香川銀行	融資先数	855先	1,806先	9,056先	2,505先	2,057先
	融資残高	332億円	2,122億円	5,887億円	951億円	1,069億円

【創業・新規事業開拓の支援】

創業及び第二創業を支援するため、事業化に向けて事業計画書の策定支援、補助金や助成金の申請支援、外部機関との連携による専門家の紹介、各種セミナーの開催等を行っています。

また、高齢化社会の進展に伴う医療・介護分野へのニーズに対応するため、医療・介護分野の新規開業・事業拡大に特化した資金調達を支援する商品の取扱いをはじめ、コンサルティング業者や医療機器メーカー、不動産業者等と連携した開業支援を行っています。

■創業支援関与の状況

●創業支援関与先数 (令和5年度)

	創業	第二創業
徳島大正銀行	525先	4先
香川銀行	622先	—

●創業支援先数（支援内容別） (令和5年度)

	創業計画策定支援	創業期取引先への融資	創業期取引先への融資 (保証協会)	創業支援機関等の紹介
徳島大正銀行	25先	322先	247先	247先
香川銀行	19先	250先	255先	143先

※創業計画策定支援先数は、本部が主導で創業計画を策定した先を計上しています。

【成長段階における支援】

お客さまのビジネスチャンスを創出するため、当社グループの広域店舗網を活かしたビジネスマッチングをはじめ、各種商談会の開催、アンテナショップやネットショップの開設等を行っています。また、事業のライフステージや業種に特化したセミナー開催による情報提供等、お客さまの事業をサポートしています。

■お取引先のPR・販路拡大支援

●アンテナショップ「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」

お取引先及び徳島県・香川県の優れた特産品の首都圏での販売及びPRを目的として、東京有楽町にアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」を開設しています。

●ネットショップ「徳島・香川トモニ市場ヤフーショッピング店」

お取引先へのネットショッピング活用による売上拡大支援等を目的として、Yahoo!ショッピング内においてネットショップ「徳島・香川トモニ市場ヤフーショッピング店」を開設しています。

(URL: <https://store.shopping.yahoo.co.jp/tomony-ichiba/>)

●アンテナコーナー「トモニ市場in八幡浜」

お取引先の優れた特産品等の販路拡大等を目的として、愛媛県八幡浜市の道の駅八幡浜みなと内「アゴラマルシェ」にアンテナコーナー「トモニ市場in八幡浜」を開設しています。

●「トモニmini商談会」の開催

お取引先の優れた商品の販路拡大等を目的として、バイヤーを招聘する小さな商談会「トモニmini商談会」を開催しています。

■中小企業の海外進出支援に対する取組み

お取引先の海外展開を支援するため、海外銀行との連携、海外展開一環支援ファストパス制度への参加、外部機関との業務提携等により、海外進出サポートに係るサポート体制の強化を図っています。

■成長支援関与の状況

●ソリューション提案先及び融資残高並びに全取引先数及び融資残高に占める割合 (令和5年度)

	徳島大正銀行	香川銀行
ソリューション提案先 (全取引先に占める割合)	1,090先 (8.2%)	1,149先 (7.0%)

●地域別の販路開拓支援を行った先数 (令和5年度)

		徳島大正銀行	香川銀行
地域別での販路開拓支援	地元	105先	158先
	地元以外	227先	40先
	海外	—	—

※地元とは、徳島大正銀行では徳島県及び大阪府、香川銀行では香川県、愛媛県及び岡山県をいいます。

【経営改善・事業再生・業種転換等への支援】

営業店と本部専門部署が一体となった経営改善・事業再生の支援体制の充実を図るとともに、外部機関との連携により専門性の高いサポートも提供しています。また、お客さまとの対話を通じて、事業内容、強み・弱み、経営課題を的確に把握・分析する「事業性評価」により、M&Aや事業承継、業種転換等、最適なソリューションの提供に努めるとともに、事業の将来性や継続性を重視した融資等に積極的に取り組んでいます。

■事業性評価の取組み

当社グループは、政府系金融機関等の外部機関やコンサルティング会社等の外部専門家とも連携を図り、お取引先の経営全般の課題解決に向けたコンサルティング機能の発揮を積極的に行っています。様々なライフステージにあるお取引先の事業内容や成長可能性を適切に評価し、課題・ニーズを的確に把握するとともに、その課題等を共有し、最適なソリューションを提供することでお取引先の企業価値向上に努めています。

●事業性評価先数及びその融資残高

(令和6年3月末)

	徳島大正銀行	香川銀行
事業性評価先（全与信先に占める割合）	2,650先（20.0%）	1,634先（10.0%）
事業性評価先の融資残高（全与信先に占める割合）	3,947億円（25.4%）	2,000億円（19.3%）

■経営改善・事業再生・業種展開等関与の状況

●事業再生支援先における実抜計画策定先数及び同計画策定先のうち達成先・未達成先の先数・割合（令和6年3月末）

	事業再生支援先における 実抜計画策定先数	達成先（割合）		未達成先（割合）	
		達成先	割合	未達成先	割合
徳島大正銀行	41先	36先	(87.8%)	5先	(12.1%)
香川銀行	128先	93先	(72.6%)	35先	(27.3%)

●貸出条件を変更した先に係る経営改善計画の進捗状況

(令和6年3月末)

	条件変更先総数	好調先		順調先		不調先		計画なし先	
		好調先	割合	順調先	割合	不調先	割合	計画なし先	割合
徳島大正銀行	675先	9先	(1.3%)	59先	(8.7%)	377先	(55.7%)	230先	(34.3%)
香川銀行	1,966先	93先	(4.7%)	97先	(4.9%)	147先	(7.5%)	1,629先	(82.9%)

●(株)地域経済活性化支援機構（REVIC）及び中小企業活性化協議会の利用先数

(令和5年度)

	徳島大正銀行	香川銀行
REVIC	—	—
中小企業活性化協議会	18先	62先

●事業承継支援先数、転廃業支援先数、M&A支援先数

(令和5年度)

	徳島大正銀行	香川銀行
事業承継支援先数	106先	166先
転廃業支援先数	4先	—
M&A支援先数	101先	85先

【経営者保証に関するガイドラインへの取組状況】

当社グループは、「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めています。

■経営者保証に関するガイドラインの活用先数、全与信先に占める割合

(令和6年3月末)

	徳島大正銀行	香川銀行
経営者保証に関するガイドラインの活用先数 （全与信先に占める割合）	4,277先 (32.3%)	2,218先 (13.6%)

■地域の活性化に関する取組状況

【地域経済の発展に係る連携等に関する協定・契約の締結】

地方創生に対する取組強化の一環として、地方公共団体や外部機関、大学や高等専門学校との連携協力協定等を締結するなど、産官学一体となって地域経済の活性化を支援しています。

■地方公共団体や外部機関との連携協力協定書の締結

徳島大正銀行及び香川銀行は、地元である徳島県及び香川県並びに大阪府における地方公共団体や産業支援財団、商工会組織のほか、（独）中小企業基盤整備機構、（株）日本政策金融公庫、（株）商工組合中央金庫等の外部機関との間で連携協力協定書等を締結することにより、官民一体となって地域経済の活性化を支援しています。

■持続可能な地域経済の発展に係る連携・協力に関する協定書の締結

当社グループは、徳島大学、香川大学、阿南工業高等専門学校及び香川高等専門学校との間で、相互に連携・協力し、将来にわたって持続可能な地域経済の発展に貢献することを目的として、「持続可能な地域経済の発展に係る連携・協力に関する協定書（略称：地域とともに産学連携）」を締結しました。

この「地域とともに産学連携」により、大学及び高専は、当社グループが持続可能な地域経済の発展に貢献するために必要となる機能を適切に発揮していくためアドバイス等を行います。また、当社グループは、大学及び高専が保有する特許等の知的財産及び技術・研究成果を用いて起業する、若しくは事業化する企業活動又はベンチャーに対して「地域とトモニファンド」の活用を含め、経営面・金銭面でのサポートを行います。さらに、当社グループ並びに大学及び高専は、地域経済を支える金融機能を維持するために、相互に協力して人材育成に努めることとしています。その一環として、徳島大学、香川大学、阿南工業高等専門学校及び香川高等専門学校の学生を対象として、経済や金融に関する講演会を開催しています。

■徳島大正銀行と近畿大学との「産学連携包括契約」の締結

徳島大正銀行と近畿大学は、近畿大学が有する研究成果や高度な知識と、徳島大正銀行が持つ四国、大阪等の取引先ネットワークを活用し、地域社会における技術開発、技術教育等を支援するとともに、新事業の創出等、産業振興に寄与することにより、地域社会の発展、教育・研修の新興及び人材の育成を図ることを目的に、包括連携契約を締結しました。

徳島大正銀行のお取引先企業と近畿大学による新商品・サービスの共同研究やベンチャー企業を対象とした技術相談会の実施、学生向け企業見学会やインターンシップの実施等により、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

■香川銀行と高松信用金庫との「香川県の地域活性化に関する業務連携協定（かがわアライアンス）」の締結

香川銀行と高松信用金庫は、本店を香川県に置く地域金融機関同士が力を合わせ、地域経済をしっかりと支え、より一層地域の発展に貢献することを目的に、「香川県の地域活性化に関する業務連携協定（かがわアライアンス）」を締結しました。

「香川県を元気にする」のスローガンのもと、協調融資や、ATM相互無料化、「共同販売会」や「SDGsリレーマラソン」の開催、「かがわアライアンス地域情報ホームページ」の開設等、共同で様々な施策に取り組み、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

【地域貢献活動への取組み】

地域の皆さまの生涯学習に関する事業を支援するため、生涯学習活動を行う多くの団体に対して助成金を交付しています。また、国際交流、教育、スポーツ、音楽等、青少年への様々な支援を通じて、元気な地域社会の実現を目指しています。

■公益財団法人とくぎん生涯学習振興財団や公益信託香川銀行高齢者生涯学習振興基金による活動

地域の皆さまの生涯学習に関する事業の支援を行うという目的で、設立以来、生涯学習活動を行う多くの団体に対して助成金を交付しています。

また、公益財団法人とくぎん生涯学習振興財団では、各界の著名人を講師にお招きした講演会の開催や若手音楽家の演奏会「リオデ徳島音楽祭」の共催等により、文化振興にも努めています。

■公益財団法人香川銀行青少年育成支援財団による活動

青少年の国際交流事業として、高校生の国際交流や中学生・高校生の英語スピーチコンテストの開催を行うとともに、青少年の健全育成事業として、マネー講座の開催、青少年のハンドボール普及啓発、香川オリーブ少年少女合唱団の活動支援を行うことなど、青少年への様々な支援を通じて、地域社会の発展に貢献しています。